

# 新社長に聞く

3月28日付けで、取締役国土環境研究所長から代表取締役社長に就任する。前中期経営計画の成果を受け、13年からスタートした新中計で市場創生など、さまざまな取り組みを進める。今後の事業展開などについて聞いた。

※ 就任の抱負 ※

当社は、多様な社員がおり、06年の合併によって環境面、インフラ面に対応する多様な技術を揃えている。この多様性を活かし、社会の変化に対応する。合併のシナジー効果により、ワンストップで企画から調査・分析・予測評価、設計、対策まで行うことができ、この強

## 中計で市場創生など推進

みも活かす。また、海域における調査等を得意としており、海底資源開発に関連する環境影響調査のビジネス展開を考えている。

建設コンサルタントは「人」であり、よりよい職場環境にして、一層魅力のある会社としたい。

### 事業展開

東日本大震災の復興関係では、除染や、除染後のまちづくりのお手伝いを進める。防災・減災では、シミュレーション技術を活用し、津波のハザードマップの見直しなどを手掛け、安全・安心の確保に貢献する。

インフラの維持・更新も重要なテーマであり、アセットマネジメントを

ほそだ まそひろ  
いであ 細田 昌広 氏



【略歴】79年3月東京水産大学大学院修士課程 海洋環境工学専攻（現東京海洋大学）修了、同年4月入社。96年7月環境情報研究所数値解析部主任研究員兼大阪支店数値解析部長、03年3月執行役員環境技術本部長、07年3月常務執行役員国土環境研究所長、11年3月取締役国土環境研究所長。趣味は、ウォーキング、ドライブ。埼玉県出身、59歳。

積極的に展開する。海外展開は、中国に2つ目の合併会社を設立するとともに、ベトナムやタイでの事業展開を視野に入れている。

中期経営計画 前中計では、インベ

ションを担える人材の育成を図り、効果がでている。その1つとして、技術士の取得を支援し、毎

す。 市場創生・新規事業の展開では、技術部門と営業部門が一体となり、社

3か年の新中計では、これまでの技術開発の成果をもとにした市場創生・新規事業の展開、グローバル人材の育成、コーポレーションの強化を3本柱に、15年の連結売上高160億円をめざ

ており、太陽光や風力の発電の際に、強みを発揮できる。 グローバルな人材として、何にでも興味を持つ門が集まって、技能の研

## 多様性活かし変化対応

向上等のために研修を行っており、これからも注力する。

### 品質確保

調査室で対応しているほか、技術部門、営業部門が集まって、技能の研